

「柞江の森 魅力発信プロジェクト」

幸町市民センター×宮城野区中央市民センター

1 事業概要

柞江小学校に隣接する「柞江の森」が小学生や地域住民にとって身近で愛着を持てる憩いの場となるように魅力を再発見し、それを広く発信しようという事業です。令和3年度で4年目を迎えました。

市民企画員は、「森の達人」を目指しながら、柞江の森の魅力を発信するため、森に関連したイベントの企画・運営・報告を行っています。



2 今年度の活動

柞江の森展示会

令和3年11月13日(土)～14日(日)開催



市民企画員は、毎月第一土曜日に幸町市民センターで定例会を行い、森に関連するイベントの企画を考えています。今年度は、夏にイベントを開催できませんでしたが、企画の内容を充実させ、秋の「柞江の森の散策会」を実現させました。秋晴れのなか10名の一般参加者は、企画員と一緒に森を歩き、森の歴史や魅力の説明に熱心に耳を傾けていました。木漏れ日の差す広場で、自作の詩「森においてよ」の朗読を聞き、清らかな森の雰囲気を楽しみました。また、幸町市民センター主催の「学びとあそびのひろ

ば」では、森を感じるワークショップとこれまでの活動紹介のパネル展示を行いました。さらに柞江小学校にゲストティーチャーとして招かれ、これまでの活動で作成したリーフレットを活用しながら森の魅力を語る機会もありました。

3 成果と課題

今年度、初めて企画員自身が“森の達人”として、「柞江の森の散策会」を開催しました。散策会の目的を動植物の特性を知るのではなく、森の歴史や楽しみ方に特化することで、企画員が中心となり事業の運営を進めることができました。また、企画員が伝えたい“魅力”＝“メッセージ”は何かを改めて考える機会になりました。柞江の森を地域の憩いの場にするため、“森の達人”がいつでも森の案内人として活躍できるよう準備を進めています。



4 今後の展望～答えは「森」にある！～



最終年はこれまで同様、①柞江の森の達人になる（森や地域について学ぶ）②四季の森での活動と情報発信（事業の企画・運営・報告）③小学校への学習協力（これまでの学びを還元）④地域に向けての発信、この4つを軸として活動の継続化を図ります。柞江の森は仙台市の特別緑地保全地区、風致地区に指定されている守るべき地域の宝、身近な自然林であるという魅力をメッセージとして発信し、活動の輪を広げていきたいと思っています。